



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.9.17 No3463

職場討議を深め闘う方針の確立を 第18回定期大会に結集を

● 9月29日(日)13時から 30日(月)12時まで
● 国民宿舎・九十九里センター(山武郡九十九里町)

第十八回定期大会は、九月二十九日(日)十三時から、「国民宿舎・九十九里センター」において開催されます。今定期大会に全力で結集し、熱烈な討論をくりひろげ闘う方針を決定しよう。

「勤乗勤」改悪阻止
反△口・運転保安確立

今定期大会はこれまでもまして重大な大会になろうとしています。今大会では、第一に、「動力車乗務員勤務制度」改悪反対、反合・運転保安確立の闘いの方針を決定することです。八月六日JR東日本によって提案された「勤乗勤」改悪は今以上の労働強化と合理化をねらっています。これを許すなら乗務労働はより危機にたちます。全力で反対の闘いをまきおこななければなりません。

また信楽事故をはじめとしてJR移行後、安全が危機に立つなかで、反合・運転保安闘争の方針を決定する場であります。

同時に、株式上場の断念や土地売却の不調などのなかで、分割・民営化があらためて社会問題化する情勢が到来しようとしています。われわれが、一貫して主張してきたことが、今実際に起こりはじめられています。こうした時、清算事業団労働者の解雇撤回・原職奪還の闘いに全力をあげなければなりません。

このようにJR(国鉄)をめぐる情勢の大きな流動化のなかで、今こそ勤労千葉の闘いが情勢を決するときを迎えているといえます。

戦争反対を貫く

労働運動を

今大会では、第二に、戦争に反対する労働運動をより大きく創りあげていかなくてはなりません。「総評センター」が来春に解散します。しかし労働者の戦争に反対する闘いは消えてはいません。全国労働組合交流センターと反戦共同行動委員会の闘いをより強化・拡大し、闘う労働運動を守りぬこう。

ここ一両日にも、「PKO協力法案」が、臨時国会に提出されようとしています。これはもはや「自衛隊海外派兵法案」そのものです。これが可決されたら、自衛隊は大手をふってアジアへ中東へと派兵されます。これは戦後のあり方を一変させる重大な攻撃であり、もっともつと戦争反対の声を大きくしていかなければなりません。そのためにも、今定期大会で議論を深め、さらに闘いにたちあがるうではありませんか。

「JR体制」打倒、
組織強化・拡大を

今大会では、第三に、勤労千葉の組織の強化・拡大にむけて全力をあげること決定しよう。JR総連は、西日本・東海と続いて分裂組織を結成した。この動きは、今後さらに四国・九州さらに東日本へと波及することは必至です。JRの職場では、合理化の嵐のなかで、組合を問わず「もうやっていけない」という声が満ちています。これは当局にすり寄っている組合員ほど、深刻であるといえます。こうした中で、われわれの闘いが全JR労働者の利益を代表した闘いになるのはあきらかになっています。こうした時、組織・拡大をなんとしてもかちとろうではありませんか。

大△△に結集しよう

このほかにも、大会で議論し決定していくことは数多くあります。今定期大会に結集し、討議の渦をまきおこし、この秋から来年のダイ改をはじめとした諸闘争の勤労千葉にふさわしい方針を決定しようではありませんか。その為にも、全組合員の定期大会への結集を強く訴えます。

三十日、大会終了後
全国物販担当者、
勤労千葉物販担当者
△合同△会議を開催!

△会場
九十九里センター